



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月29日

上場会社名 協栄産業株式会社
 コード番号 6973 URL <http://www.kyoei.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 水谷 廣司
 (氏名) 板垣 政昭
 配当支払開始予定日

TEL 03-3481-2111
 平成24年12月3日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	29,358	△4.8	359	263.9	287	—	130	305.6
24年3月期第2四半期	30,840	△7.7	98	△80.4	19	△95.2	32	△91.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △84百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △307百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	4.27	—
24年3月期第2四半期	1.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	36,135	12,545	34.7
24年3月期	36,832	12,690	34.5

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 12,545百万円 24年3月期 12,690百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
25年3月期	—	2.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,000	△1.3	1,000	149.0	870	277.7	600	403.4	19.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	31,935,458 株	24年3月期	31,935,458 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,421,458 株	24年3月期	1,421,043 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	30,513,826 株	24年3月期2Q	30,515,868 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、震災後の復興需要や堅調な消費に支えられ、緩やかながらも回復傾向で推移いたしました。欧州経済の停滞、米国経済の回復鈍化、中国経済の減速など、海外経済の動向が先行きに影を落とす状況となりました。当社グループの関連するエレクトロニクス業界では、円高の長期化、新興国の台頭等により事業変革を迫られております。

このような情勢の下で、当社及び当社の子会社が持つそれぞれの機能の融合と、グループ間及び部門間相互の連携により、顧客ニーズに対する速やかな対応や積極的な営業活動の推進を図るとともに、諸経費の削減など収益改善に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は293億5千8百万円、前年同期に比べて4.8%減、営業利益は3億5千9百万円（前年同期9千8百万円）、経常利益は2億8千7百万円（前年同期1千9百万円）、四半期純利益は1億3千万円（前年同期3千2百万円）という成績になりました。

セグメントの概況は以下のとおりです。

(商事部門)

- ・売上高 226億4千6百万円（前年同期比9.2%減）
- ・営業利益 4億1千9百万円（前年同期比33.4%減）

商事部門においては、前年同期と比較しますと、特に第2四半期の受注環境が厳しい状況で推移いたしました。そのような中、海外子会社は比較的堅調に推移いたしました。

事業別の詳細は以下のとおりです。

①半導体デバイス事業

半導体分野では、自動車関連は第2四半期は前年と比較すると伸び悩みました。

白物家電関連は全般的には堅調でありましたが、海外エアコン向けが第1四半期に続き第2四半期も低調に推移しました。産業関連は中国向け設備投資の減速等もありましたが、新規デザインイン等の効果もあり堅調となりました。

またデジタルAV、パソコン関連は業界全体の需要低迷の影響で低調となりました。

電子デバイス分野では、スマートフォン、車載向けの希土類磁石が順調に推移いたしました。その他の電子部品も堅調に推移いたしました。

事業全般としては電子デバイス分野は好調でしたが、規模の大きい半導体分野が伸び悩んだため、全体としては低調となりました。

②電子材料事業

電子材料事業は、スマートフォン、車載関連向けコネクタは堅調でしたが、テレビ、パソコン向けコネクタや半導体リードフレーム等が低調に推移したため、事業全体としては低調となりました。

③FAシステム事業

産業メカトロニクス分野では、放電加工機、レーザー加工機などの設備機械は商談の先送り等により低調に推移いたしました。NC装置は第2四半期は主要ユーザーからの受注が持ち直しましたが、全般に低調となりました。

FA機器分野でも、エレクトロニクス関連の装置メーカーの投資の冷え込み等もあり低調に推移いたしました。

④その他

北海道と西日本地区を拠点とする協栄マリンテクノロジー株式会社が行う救命いかだの整備サービス事業は堅調に推移いたしました。

(IT部門)

- ・売上高 27億5千9百万円（前年同期比10.3%増）
- ・営業利益 2億7千1百万円（前年同期比605.6%増）

IT部門においては、低調であった前年同期と比較いたしますと、全般に回復傾向で推移いたしました。

事業別の詳細は以下のとおりです。

①ビジネスソリューション事業

建設関連システムは、大規模案件の受注やパッケージ製品の販売が順調であったため、全般に好調に推移いたしました。

エンドユーザー向けシステム開発は受注規模は小型化していますが、前年同期と比較し堅調に推移いたしました。

サービス提供型ビジネスは堅調に推移いたしました。

受託ソフト開発は、電力関連向けは、大震災の影響で開発規模は縮小していますが受注は上向きで推移いたしました。その他のSIerからの受注は低調となりました。

②エンベデッドシステム事業

エンベデッドシステム系は、カーナビ開発が順調に推移いたしました。また通信制御装置の販売は低調であった前期と比較すると回復傾向で推移いたしました。

専用装置システム開発は第2四半期にやや低迷いたしました。専用ボードシステムは順調に推移いたしました。

監視制御システム系は、主要顧客の内製化等の影響が続き苦戦いたしました。

③IC設計事業

IC設計事業は、当社の得意とするアナログ技術をベースに新規顧客の開拓と新規分野への進出を図りました。しかしながら十分な受注を確保するに至らず厳しい状況で推移いたしました。

(製造部門)

- ・売上高 39億6千5百万円 (前年同期比16.1%増)
- ・営業利益 2億1千6百万円 (前年同期比874.1%増)

製造部門においては、期を通して受注が好調に推移いたしました。特に子会社の福島協栄株式会社が事業全体を牽引いたしました。

プリント配線板事業

相模原工場では、車載向けメタルコア基板が第2四半期も好調に推移いたしました。精密機器やOA機器向けモジュール基板は第2四半期にはやや減速しましたが、総じて順調に推移いたしました。

福島協栄株式会社では、アミューズメント向け及び車載向けを中心に好調に推移いたしました。

また海外で行っているフレキ基板ビジネスも好調に推移いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて6億9千7百万円減少し、361億3千5百万円となりました。

- ・流動資産は、現金及び預金19億9千9百万円の増加、受取手形及び売掛金22億7千5百万円の減少、商品及び製品3億8千1百万円の減少等により、9億2千4百万円減少し、300億8千3百万円となりました。
- ・固定資産は、繰延税金資産2億6千3百万円の増加等により、2億2千7百万円増加し、60億5千1百万円となりました。
- ・流動負債は、支払手形及び買掛金10億4千7百万円の減少、1年内返済予定の長期借入金17億9千万円の減少等により、29億9千9百万円減少し、177億9千9百万円となりました。
- ・固定負債は、長期借入金24億3千万円の増加等により、24億4千8百万円増加し、57億9千万円となりました。

この結果、純資産は、1億4千5百万円減少し、125億4千5百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の34.5%から0.2ポイント増加し、34.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ19億9千9百万円増加し、70億2千4百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は17億4千6百万円となりました。これは主として次の要因によるものです。

資金増加要因：	税金等調整前四半期純利益	2億6千6百万円
	減価償却費	1億8千9百万円
	売上債権の減少	21億5千2百万円
資金減少要因：	仕入債務の減少	9億9千3百万円

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は1億8千2百万円となりました。これは主として投資有価証券の取得等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は4億3千7百万円となりました。これは主として長期借入金の借入等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成24年5月11日公表の連結及び個別の業績予想を修正いたします。

詳細につきましては本日（平成24年10月29日）公表いたしました「第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,855,086	7,854,855
受取手形及び売掛金	17,611,431	15,336,348
電子記録債権	79,167	123,987
商品及び製品	5,763,914	5,382,265
仕掛品	768,643	747,642
原材料及び貯蔵品	170,453	159,630
繰延税金資産	551,846	288,992
その他	220,691	199,051
貸倒引当金	△12,915	△8,894
流動資産合計	31,008,319	30,083,878
固定資産		
有形固定資産	2,647,692	2,627,341
無形固定資産	233,541	217,958
投資その他の資産		
投資有価証券	1,902,826	1,857,932
繰延税金資産	79,063	342,542
その他	1,074,065	1,113,622
貸倒引当金	△112,632	△107,527
投資その他の資産合計	2,943,322	3,206,569
固定資産合計	5,824,556	6,051,869
資産合計	36,832,876	36,135,747
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,875,068	11,827,411
短期借入金	2,888,672	2,793,021
1年内返済予定の長期借入金	3,370,000	1,580,000
未払法人税等	77,440	66,868
賞与引当金	258,796	268,209
工事損失引当金	117	—
その他	1,329,813	1,264,435
流動負債合計	20,799,909	17,799,946
固定負債		
長期借入金	2,000,000	4,430,000
繰延税金負債	338	319
退職給付引当金	654,160	607,771
役員退職慰労引当金	204,750	209,875
その他	482,755	542,158
固定負債合計	3,342,003	5,790,124
負債合計	24,141,913	23,590,070

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,161,819	3,161,819
資本剰余金	3,120,470	3,120,235
利益剰余金	6,908,983	6,978,314
自己株式	△416,477	△416,295
株主資本合計	12,774,795	12,844,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	304,590	138,208
為替換算調整勘定	△388,423	△436,604
その他の包括利益累計額合計	△83,832	△298,395
純資産合計	12,690,962	12,545,677
負債純資産合計	36,832,876	36,135,747

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	30,840,710	29,358,180
売上原価	27,679,887	25,959,187
売上総利益	3,160,822	3,398,992
販売費及び一般管理費	3,062,011	3,039,426
営業利益	98,811	359,566
営業外収益		
受取利息	780	749
受取配当金	25,580	22,099
その他	37,734	41,642
営業外収益合計	64,096	64,491
営業外費用		
支払利息	82,556	78,912
為替差損	23,445	17,572
債権売却損	15,921	17,858
その他	21,039	22,584
営業外費用合計	142,963	136,928
経常利益	19,944	287,128
特別利益		
固定資産売却益	1,074	18,037
災害損失引当金戻入額	29,480	—
特別利益合計	30,554	18,037
特別損失		
固定資産除却損	1,016	5,600
投資有価証券評価損	3,117	32,871
特別損失合計	4,134	38,472
税金等調整前四半期純利益	46,364	266,694
法人税、住民税及び事業税	26,166	44,822
法人税等調整額	△11,942	91,511
法人税等合計	14,224	136,334
少数株主損益調整前四半期純利益	32,140	130,359
四半期純利益	32,140	130,359

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	32,140	130,359
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△271,543	△166,381
為替換算調整勘定	△68,385	△48,181
その他の包括利益合計	△339,929	△214,563
四半期包括利益	△307,788	△84,203
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△307,788	△84,203

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	46,364	266,694
減価償却費	225,859	189,371
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7,463	△9,126
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△17,683	9,791
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△77,000	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△22,847	△46,388
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△25,566	5,125
受取利息及び受取配当金	△26,361	△22,848
支払利息	82,556	78,912
投資有価証券評価損益 (△は益)	3,117	32,871
固定資産除却損	1,016	5,600
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1,074	△18,037
売上債権の増減額 (△は増加)	△575,482	2,152,860
たな卸資産の増減額 (△は増加)	228,623	367,751
仕入債務の増減額 (△は減少)	△171,788	△993,600
未収消費税等の増減額 (△は増加)	78,232	5,090
未払消費税等の増減額 (△は減少)	52,603	△84,737
その他	△334,023	△80,407
小計	△540,917	1,858,922
利息及び配当金の受取額	26,361	22,847
利息の支払額	△82,658	△78,313
法人税等の支払額	△71,228	△56,524
営業活動によるキャッシュ・フロー	△668,442	1,746,932
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△4,457	△246,504
有形固定資産の売却による収入	1,074	112,000
有形固定資産の取得による支出	△27,017	△33,319
無形固定資産の取得による支出	△69,816	△16,857
貸付金の回収による収入	—	1,728
投資活動によるキャッシュ・フロー	△100,217	△182,952
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,132,577	5,105,928
短期借入金の返済による支出	△3,269,502	△5,172,055
長期借入れによる収入	1,500,000	3,350,000
長期借入金の返済による支出	△560,000	△2,710,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△104,397	△75,622
自己株式の売却による収入	86	233
自己株式の取得による支出	△153	△286
配当金の支払額	△61,032	△61,028
財務活動によるキャッシュ・フロー	637,578	437,168
現金及び現金同等物に係る換算差額	△426	△1,379
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△131,508	1,999,769
現金及び現金同等物の期首残高	3,446,400	5,025,086
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,314,892	7,024,855

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	商事部門	I T部門	製造部門	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	24,941,917	2,483,385	3,415,407	30,840,710
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4,379	17,750	1,223	23,353
計	24,946,297	2,501,135	3,416,630	30,864,063
セグメント利益	630,181	38,530	22,271	690,982

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	690,982
全社費用(注)	△592,171
四半期連結損益計算書の営業利益	98,811

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			
	商事部門	I T部門	製造部門	合計
売上高				
（1）外部顧客への売上高	22,641,489	2,751,663	3,965,027	29,358,180
（2）セグメント間の内部売上高又は振替高	4,915	7,383	255	12,554
計	22,646,404	2,759,046	3,965,283	29,370,734
セグメント利益	419,459	271,867	216,939	908,266

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	908,266
全社費用（注）	△548,700
四半期連結損益計算書の営業利益	359,566

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。